

## 藤村大使の サンティアゴ・デ・クーバへの出張

2019年8月28日

8月21日から23日まで藤村大使はサンティアゴ・デ・クーバへ出張しました。同大使には林源太書記官と竹森久美子草の根・人間の安全保障無償資金協力委嘱員が同行しました。

22日午前には柔道道場「ヒロシマ」を訪問し、同道場の出身選手の活躍ぶりや歴史についての説明を受けたのち、組み手のデモンストレーションを見学しました。また、2016年の柔道畳供与に対して感謝をいただきました。



次いで同大使は「フランシスコ・プラット・プイ」文化センターで折り紙・俳句・写真の展示会の開会式に出席しました。「折り紙の世界」という企画はここで15年間も続けられており、大人から子供まで多くの方が観覧に訪れていました。



22日午後に行われた草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「サンティアゴ・デ・クーバ県2病院医療機材整備計画」の完成式では、日本製のX線画像デジタル化機器の供与を受け、サンティアゴ・デ・クーバ県保健局副局长、コンラド・ベニテス臨床腫瘍病院長及びグアマ市保健局副局长がそれぞれ感謝の意を述べ、藤村大使からは同案件はサンティアゴ・デ・クーバ県の医療サービスの向上に貢献するものであり、機器の維持管理の徹底が求められました。



### [完成式における藤村大使の挨拶文はこちらをクリック](#)

また、同日行われたサンティアゴ・デ・クーバ日本文化週間開会式では、「さくら」独唱や武道の披露に加え、アザラシ・ロボット「ルナ」のサンティアゴ・デ・クーバ県デビューが式典を盛り上げました。藤村大使は日本文化の理解促進に努める関係者へ感謝の意を述べ、今後、地方都市でも両国の文化交流が深まることに期待を寄せました。





[日本文化週間開会式における藤村大使の挨拶文はこちらをクリック](#)

23日午前、藤村大使はサンタ・イフィヘニア墓地を訪れ、守衛交代の儀式に立ち会い、同墓地で永遠の眠りにについている方々に冥福を祈りました。その後、県人民議会を訪問し、サンティアゴ・デ・クーバ県の環境問題について意見交換を行いました。



広報文化班  
在キューバ日本国大使館  
電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904  
メールアドレス: [cultura@hv.mofa.go.jp](mailto:cultura@hv.mofa.go.jp)  
[www.cu.emb-japan.go.jp](http://www.cu.emb-japan.go.jp)  
[https://web-japan.org/index\\_es.html](https://web-japan.org/index_es.html)